

乳腺腫瘍科

○ 乳腺腫瘍科の概要

1. 乳腺腫瘍科の特色

近年増加している「がん」のなかで、乳がんは代表的な疾患である。女性の部位別がん罹患率では第1位で、最近のデータでは日本人女性は生涯のうちで12人に一人が乳がんにかかるといわれている。そんな疾患を診療する乳腺腫瘍科は大きな重責を担っている科であり、これからの伸びが期待できる“promisingな科”であるといえる。

2. 初期研修の魅力

埼玉医科大学乳腺腫瘍科は、外科系診療科に属するが診療内容から外科的手技を身につける以外に、診断面では画像診断の読影技術や、病理学的知識の習得が必要であり、治療面では内分泌療法、化学療法および緩和医療に至るまで幅広い知識を身につけることができる科である。また、女性患者がほとんどであり“見た目”を要求されることから形成外科的要素も含んでおり、外科のなかでは最も繊細な診療科ともいえる。

3. 診療実績

埼玉医科大学国際医療センターにおける乳腺腫瘍科の2014年の診療実績は、原発性乳がん手術症例は529件であった。乳がん手術の内訳は、乳房切除術が240例、乳房温存術は223件であり、乳房温存率は51.7%であった。一次乳房再建術は28例施行され、乳房切除術後の一次乳房再建率は11.7%であった。

4. 診療・教育スタッフ

大崎 昭彦（診療部長、教育主任、教授）

佐伯 俊昭（副診療部長、研究主任、教授）

上田 重人（病棟医長、講師）

杉谷 郁子（助教）、佐野 弘（助教）、島田 浩子（助教）、浅野 彩（助教）

ほか、非常勤医師2名

5. 研修責任者と臨床研修指導医

研修責任者：大崎 昭彦

臨床研修指導医：大崎 昭彦、佐伯 俊昭、上田 重人、加賀美詠子（非常勤）

6. 臨床研修プログラムの特色

病棟はスタッフ医師が指導医として直接に指導にあたる。スタッフ医師と共に担当医（主治医）となるが、担当医以外の患者についてもチームの一員としてケアを行い、実際の臨床経験を積む。

月曜日午後3時から術前カンファレンスが定期的に行われ、次週の手術症例について検討する。ここでは術前の画像診断との対比や治療方針に関わる病理所見について討論される。水曜隔週の午後6時より治療方針カンファレンスが行われ、術後薬物療法や放射線療法の決定や、再発・進行乳がんの治療方針について議論される。

下記の経験できる疾患、手技について受け持ち患者のレポートを提出する。手術症例について、その診断、治療法、手術法などについてレポートを提出する。

3病院自由選択プログラム、研究マインド育成自由選択プログラムでは、1年次の選択必修あるいは2年次の自由選択（調整月含む）の11ヶ月間に当科を選択できる。

* 研修中に経験できる疾患、手技

経験できる疾患は乳がん、乳腺症、線維腺腫、葉状腫瘍、乳腺炎、女性化乳房、乳管内乳頭腫などで、研修中に身につけるべき内容は、基本的な外科手技の習得、乳がんの画像診断技術の習得、薬物療法（化学療法、内分泌療法、分子標的薬剤による治療）の知識の習得、インフォームドコンセントや緩和医療を含めたがん患者に対する診療の全般的知識を身につけるということである。

7. 経験目標・到達目標

一般目標

乳がんの正確な診断に必要な検査法の意義・適応を理解したうえで、画像の読影能力、外科的診断手技を習得し、乳がん患者の治療方針の立て方、術前検査、周術期管理、外科的基本的な手技を身につける。

以下は既に基本研修で掲げた目標は省略し、当診療科に比較的特有と考えられる目標を示した。

到達目標と評価表（1ヶ月間研修した場合）

【評価 A：可 B：不可】	自己評価	指導医評価
1. 乳腺疾患患者の身体所見がとれる。	()	()
2. マンモグラフィの読影ができる。	()	()
3. 乳腺超音波検査の読影ができる。	()	()

到達目標と評価表（2ヶ月目以上研修した場合）

【評価 A：可 B：不可】	自己評価	指導医評価
1. 乳腺疾患患者の身体所見がとれる。	()	()
2. マンモグラフィの読影ができる。	()	()
3. 乳腺超音波検査の読影ができる。	()	()
4. 乳腺針生検検査を実施できる。	()	()
5. 圧迫止血法を実地できる。	()	()
6. 創部消毒とガーゼ交換を実地できる。	()	()
7. ドレーン・チューブ類の管理ができる。	()	()
8. 局所麻酔法を実地できる。	()	()
9. 皮膚縫合法を実地できる。	()	()
10. 簡単な切開・排膿を実地できる。	()	()

8. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
8:30～	病棟回診	病棟回診	7:50～ カンファレンス・病 棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
AM	病棟/手術	外来/病棟	手術	外来/病棟	手術	
PM	病棟/手術 術前カンファレンス	病棟	マンモトーム生検/ 手術	マンモトーム生検	手術	
18:00	病棟回診	病棟回診	治療方針 カンファレンス/病 理カンファレンス	病棟回診	病棟回診	

9. 当科の一押し

和やかな雰囲気の中かで多くの症例を経験でき、international に通用するレベルの高い研修ができる。近年、がん診療で重要視されるチーム医療において先駆的な存在で、当科で研修するとおのずとその進んだチーム医療が経験できる。

また、研究面では、全てのがんのなかで最も進んでいる疾患であり、興味があれば研究のことも垣間見ることが可能である。ゲノム医学研究センターも隣接しており、トランスレーショナルリサーチの成果を上げるにはまたとない環境にある。

10. 研修に関する問い合わせ先

〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1
埼玉医科大学国際医療センター 包括的がんセンター
乳腺腫瘍科 大崎 昭彦（診療部長、教授）
TEL：042-984-4670
FAX：042-984-4672
E-mail：aosaki@saitama-med.ac.jp

* 指導医からの一言

アットホームな雰囲気ですが、みなさんの希望に応えられる“場”とスタッフは揃っています。当科のホームページも開設していますのでぜひ一度アクセスしてみてください。
(<http://saitama-med-bre.sakura.ne.jp/>)
最高の診療ができる場をわれわれと一緒に築いてくれる若い力をお待ちしています。

